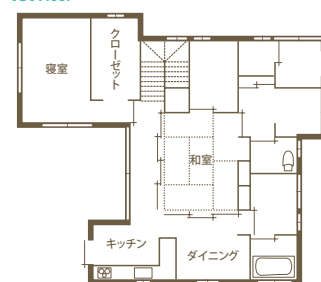
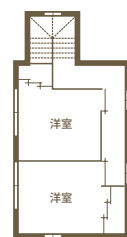




1st Floor



2nd Floor



Housing Data

家族構成 | 夫婦+子ども2人
竣工 | 2017年3月
構造 | 木造軸組工法
延床面積 | 112.83㎡ (29.37坪)
1F 83.44㎡ (21.72坪)
2F 29.39㎡ (7.65坪)

【施工】
壺谷建設(株)

この家を建てた企業の情報は P.000~

3. 祖父から受け継いだツガ、コガ、エンジュなどの名木を取り入れた玄関まわり。 4. 古民家の風情に憧れていた奥さま。床を濃い色にして世界観を表現。 5. キッチンにはL字に、エキゾチックなデザインの照明もマッチ。 6. 杉丸太の垂木に面皮柱など数寄屋の風情は壺谷建設の真骨頂。 7. 白木が美しい玄関扉は組子細工も繊細。 8. 手洗いの天板も祖父から受け継いだケヤキ。 9. ご主人が壺谷の外観の美しさに惚れ込んだというも頷けます。

「白木の今も美しいですが、経年を味わいに変えていくのが和建築の魅力だと思っただけです。」そう語る奥さまはこの家に住むようになって掃除さ楽しみになったと言います。「NHKで見るベニシアさんのような暮らしに憧れて」という言葉を聞いて納得。和の風情のなかに、奥さまが選んだアンティークの家具やトルコランプが独特の雰囲気を作り出しています。これから作る自家菜園ではハーブを育て、摘みだすのハーブでハーブティを楽しむなど、家と庭と暮らしが密着した毎日を思い描いています。

家を建てるにあたり、当初から和室と縁側が欲しいと考えていた奥さま。けれど独立した和室は使用頻度が低いと考え、LDKの真ん中に畳空間を作ること。畳の上でごろんとくつろいだり、縁側に腰かけたりと使い勝手のいいLDKを実現しました。

また、祖父から譲り受けたという名木も巧みに活用。「おじいちゃんが大切にしてきたツガやケヤキなどたくさんのお木を玄関を中心に取り入れてもらいました。早くおじいちゃんに見せたいですね」と目を細めます。想いを受け継ぎ、夢を詰め込んだ理想の住まいで、Mさん一家の物語が紡がれていきます。



仕切れば和室、建具を取れば広々としたLDK、窓辺は廊下になったり縁側になったりといういろんな表情を見せる。

My home in KAGAWA 仲多度郡 M邸

数寄屋風情と古民家テイストが共存する、暮らしを楽しむための住まい。



1. 縁側に腰かけて庭を愛でるのも楽しみに。これから家庭菜園を始めたり木々を植える予定なのだから。うっそうとした緑に包まれた外観もきっと魅力的。 2. 建具は奥さまがこだわった形に造作。古民家を彷彿とさせるデザイン。